

令和7年度 第3回「未来をつくる こどもまんなかアワード」受賞者 未来をつむぐ「こども・若者部門」

| 表彰種別 | 受賞者名等 | 活動の概要 | 活動の様子 |
|------------------|---|---|---|
| 内閣総理大臣表彰 (1件) | 楊志館高等学校 德育宣隊 所在地:大分県大分市 代表者:生徒代表 小野 茜莉 活動期間:2021年4月から | <p>○3名の生徒が公園の清掃活動に参加したことをきっかけとして、約5年間で構成員が50名を超え、活動の場も、こども食堂や高齢者施設にまで展開している。</p> <p>○公園の清掃で収集した落ち葉などは袋に詰めて発酵させ、肥料として有効活用して野菜を栽培し、こども食堂に提供している。</p> <p>○こども食堂での様々な企画・活動(運動教室やバルーンアート)が評価され、高齢者施設からもボランティアの依頼が複数寄せられており、現在は、複数の高齢者福祉施設との連携が軌道に乗り、定期的に誕生日会等への参加・出演の依頼に対応するなど、幅広い年齢層を対象に活動を行っている。</p> <p>※具体的な活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との公園清掃、落ち葉を活用した肥料作り、野菜の栽培 ・こども食堂への野菜の寄付及び調理、各種行事企画。ラジオ等でこども食堂の活動紹介 ・高齢者施設の訪問 ・「フタ芸リハビリ体操」を開発し、こども食堂と高齢者施設のコラボ企画で披露 ・地域のイベント等でドローンに装飾を行った地域交流企画の実施 |  <p>地域住民との公園清掃の様子</p>  <p>たき火で調理したおにぎり配布の様子</p> |
| 特命担当大臣表彰 (1件) | 道南eachプロジェクト 所在地:北海道函館市 代表者:センター長 岡本 啓吾 活動期間:2020年6月から | <p>○参加を希望する中高生が毎年度新たに集まり、それぞれの個性や表現を尊重することを主軸に、約5か月をかけて一冊の雑誌を制作するプロジェクト。</p> <p>○学生が企画の立案、各々の興味・関心に基づくワークショップ、地域との交流・理解を深めるための取材活動や執筆を行っており、学生の視点から地域を見つめ直し、小説、漫画のほか、地元食材を使った料理特集など多様な表現方法を用いて雑誌を作成し函館市内で広く配布することにより、学生自身が地域と関わりながら成長とともに、地域の魅力を再発見し、脚光を浴びるきっかけとなっている。</p> <p>※具体的な活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度20人程度の中高大学生が参加し、5月～10月の期間で雑誌を制作 ・記事の例 街の過去を知る方々へのインタビュー、学生が市長になったことを想定した座談会 漁師に取材をし、函館では低利用とされる魚の料理を特集 野良猫を追いかけて撮った道のりや風景を基にした小説 |  <p>ワークショップの様子</p>  <p>ユースマガジン「each」</p> |